



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月7日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3143 URL http://www.owill.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小口 英器
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03 (5772) 4488
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	7,396	△1.1	70	△16.0	69	△39.6	41	△40.5
26年3月期第1四半期	7,478	2.2	84	△38.8	115	△24.6	69	△26.2

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 51百万円 (△39.4%) 26年3月期第1四半期 84百万円 (△11.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	13 13	— —
26年3月期第1四半期	22 8	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	8,451	1,764	19.9	532 64
26年3月期	7,780	1,714	22.0	544 19

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,677百万円 26年3月期 1,714百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	— —	0 0	— —	30 0	30 0
27年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
27年3月期(予想)	— —	0 0	— —	30 0	30 0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,549	6.7	225	△1.6	225	△12.5	142	△7.1	45 16
通期	30,000	10.8	420	50.1	420	30.2	250	50.7	79 37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規1社（社名）J. S. O'will, Inc.、除外0社（社名）

(注) 当四半期連結累計期間における、連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無であります。
詳細は、添付資料P. 3「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	3,150,000株	26年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	180株	26年3月期	180株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	3,149,820株	26年3月期1Q	3,149,864株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成26年4月に実施された消費税率引き上げに伴う駆け込み需要による反動の影響が懸念されたものの、政府の財政、金融政策を背景に、緩やかな回復傾向で推移いたしました。しかしながら、新興国の景気減退や原材料の高騰等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品飲料業界におきましては、景気回復への期待感から消費マインドは改善傾向にあるものの、消費税増税等による物価上昇の不安材料から、消費者の生活防衛意識は依然として高く、消費に結びつき難い状況が続いております。

このような状況下、当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安定的な原材料・資材の供給体制を維持するとともに、新規商品の積極提案、新規取引先の開拓等による拡販に努めてまいりました。糖類や香料等の食品副原料や茶葉等の販売が伸長したものの、果肉缶詰や飲料製品等の販売数量が減少したこと等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,396,174千円（前年同期比1.1%減）となりました。また、業務用殺菌乳の販売数量増による物流費の増加及び、平成25年11月に実施した基幹システムの新規導入に伴う当第1四半期の減価償却費計上額の増加等により販売管理費が増加し、営業利益は70,956千円（前年同期比16.0%減）となりました。営業外収支において為替差益が減少したことから、経常利益は69,617千円（前年同期比39.6%減）、四半期純利益は41,359千円（前年同期比40.5%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

<卸売事業>

飲料市場においては、少子高齢化の状況下にある国内市場では飲料メーカーが多数存在しているほか、グローバル展開の加速及び企業再編の動きもあり、企業間の競争は激化しております。

このような状況下、当社グループは取引先の要望にこたえるべく、これまで以上に供給先との関係を強固にして安定的な原材料の供給に努めるとともに、更なる品質管理体制の強化により、安心且つ安全な商品の提供を行うよう、努めてまいりました。脱脂粉乳や生クリーム等の乳及び乳製品、ジャスミン茶や果汁等の農産物及び同加工品の販売が好調に推移したものの、果肉缶詰や飲料製品の販売数量が減少したことから、売上高は7,162,241千円（前年同期比1.9%減）となりました。

<製造販売事業>

安心且つ安全な商品をお客様にお届けするために、品質管理面をより一層強化し、取引先に安心して生産委託していただけるよう、製造環境の整備に注力いたしました。これにより、取引先からのPB商品の新規受託件数が増加し、売上高は155,911千円（前年同期比1.7%増）となりました。

<その他>

その他においては、コンビニエンス事業を大手町地区で展開しておりますが、平成25年10月に1店舗を新規出店し、合計5店舗となったことから、売上高は238,598千円（前年同期比19.0%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ736,099千円増加し、7,409,539千円となりました。主な要因は、売掛金、商品及び製品の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ65,766千円減少し、1,041,597千円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて670,332千円増加の8,451,137千円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ679,710千円増加し、5,966,596千円となりました。主な要因は、買掛金の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ60,132千円減少し、719,686千円となりました。主な要因は、長期借入金の減少によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ619,577千円増加し、6,686,282千円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ50,755千円増加し、1,764,855千円となりました。主な要因は、子会社であるJ.S.O'will, Inc. を連結範囲に含めたことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月12日に発表いたしました数値と変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間より、従来は非連結子会社であったJ.S.O'will, Inc. を、重要性が増加したために連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	987,946	852,460
受取手形及び売掛金	3,533,173	4,043,350
商品及び製品	900,042	1,178,604
未着商品	852,341	703,417
原材料及び貯蔵品	18,076	23,662
未収入金	322,287	466,076
繰延税金資産	22,359	20,705
その他	41,913	126,962
貸倒引当金	△4,700	△5,700
流動資産合計	6,673,440	7,409,539
固定資産		
有形固定資産	348,213	347,470
無形固定資産	119,376	112,769
投資その他の資産	639,774	581,357
固定資産合計	1,107,364	1,041,597
資産合計	7,780,804	8,451,137
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,727,650	4,485,725
1年内返済予定の長期借入金	302,240	294,256
未払金	1,073,850	971,826
未払法人税等	88,244	19,623
賞与引当金	35,496	23,400
その他	59,403	171,764
流動負債合計	5,286,886	5,966,596
固定負債		
長期借入金	713,267	640,376
資産除去債務	5,946	5,970
その他	60,605	73,339
固定負債合計	779,818	719,686
負債合計	6,066,704	6,686,282

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	288,387	288,387
利益剰余金	1,011,435	955,967
自己株式	△105	△105
株主資本合計	1,663,105	1,607,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,576	57,206
繰延ヘッジ損益	2,605	△2,212
為替換算調整勘定	8,812	15,091
その他の包括利益累計額合計	50,994	70,085
少数株主持分	—	87,132
純資産合計	1,714,100	1,764,855
負債純資産合計	7,780,804	8,451,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	7,478,784	7,396,174
売上原価	6,866,390	6,748,829
売上総利益	612,393	647,344
販売費及び一般管理費	527,896	576,388
営業利益	84,496	70,956
営業外収益		
受取配当金	1,414	1,773
為替差益	27,003	610
受取手数料	1,657	1,611
受取補償金	1,655	714
保険解約返戻金	3,200	—
その他	781	696
営業外収益合計	35,712	5,406
営業外費用		
支払利息	3,040	3,258
支払補償費	1,807	3,420
その他	134	66
営業外費用合計	4,982	6,745
経常利益	115,227	69,617
税金等調整前四半期純利益	115,227	69,617
法人税、住民税及び事業税	42,859	19,251
法人税等調整額	2,807	7,710
法人税等合計	45,666	26,961
少数株主損益調整前四半期純利益	69,560	42,656
少数株主利益	—	1,296
四半期純利益	69,560	41,359

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	69,560	42,656
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,509	17,629
繰延ヘッジ損益	8,309	△4,817
為替換算調整勘定	1,088	△4,276
その他の包括利益合計	14,907	8,535
四半期包括利益	84,468	51,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	84,468	51,259
少数株主に係る四半期包括利益	—	△68

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,230,539	47,688	7,278,228	200,555	7,478,784	—	7,478,784
セグメント間の内部 売上高又は振替高	71,881	105,557	177,438	—	177,438	△177,438	—
計	7,302,420	153,246	7,455,666	200,555	7,656,222	△177,438	7,478,784
セグメント利益	71,824	11,556	83,381	1,006	84,387	109	84,496

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額109千円は、セグメント間取引消去109千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,093,117	64,457	7,157,575	238,598	7,396,174	—	7,396,174
セグメント間の内部 売上高又は振替高	69,123	91,453	160,576	—	160,576	△160,576	—
計	7,162,241	155,911	7,318,152	238,598	7,556,751	△160,576	7,396,174
セグメント利益又は 損失(△)	62,109	7,467	69,576	△1,497	68,079	2,876	70,956

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額2,876千円は、セグメント間取引消去2,876千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。